

特集展示のご案内

長崎歴史文化博物館では、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しく願い申し上げます。

美術展示室 特集展示「佐賀藩深堀領と長崎」

江戸時代の長崎は、海外交流の窓口として重要な役割を担っていました。そこでは長崎奉行所を中心として、周辺の諸大名とともに外国船を監視し、外交・貿易をおこなっていました。長崎の運営は周辺大名の協力が不可欠だったのです。

なかでも、長崎の入口に位置し、佐賀藩の飛び地として長崎警備などを担っていた深堀は、長崎の町とのつながりも深く、佐賀藩の窓口として多くの役割を果たしていました。

長崎の南部深堀の領主深堀氏は、江戸時代には佐賀藩鍋島氏の家老格に位置づけられます。戦国末期から江戸時代初期の混乱期には、佐賀藩の先陣を務め多くの軍功を立てました。また、のち佐賀藩の役割として長崎の警備が任命されると、他の家老と協力し、遠見番や戸町番所を守っていきます。

本展示では、佐賀藩深堀領の役割とその歴史について、当館所蔵の資料を通してご紹介します。



彼杵郡深堀郷図（部分）

【展示構成】

I 長崎と深堀

深堀が描かれた絵図から、深堀鍋島家の城下町や町の特長を紹介。

II 佐賀藩と深堀領

中世以来、深堀の地を治めていた深堀氏の歴史と、龍造寺氏や佐賀藩鍋島氏との関係を紹介。

III 長崎警備と深堀

佐賀藩の重要な任務「長崎警備」について、絵図や関係資料で紹介。

特別展示 先陣を担う深堀領の武士

佐賀藩の先手組として戦の先陣を任された深堀鍋島家について、その家臣田代家の資料を通して紹介。



戸町御番所絵図（部分）



有馬原城攻囲之図（部分）

特集展示「佐賀藩深堀領と長崎」

会期： 2014年10月22日(水)～12月14日(日)
会場： 美術展示室（2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内）
時間： 8:30～19:00（最終入館18:30）
観覧料： 常設展観覧料でご覧いただけます
（大人600円 小中高生300円 ※県内小中学生は無料）

深堀史跡めぐり

日時： 2014年11月8日(土)13:00出発
会場： 長崎市深堀地区ほか
講師： 岡本健一郎（当館研究員）
定員： 40名 参加費： 1500円

※本講座は定員に達しましたので受付は終了しました。